中大スポーツ
CHŪDAI SPORTS
7月13日　木曜日
令和5年(2023)
第177号
SPORT
中央大学体育連盟機関紙
発行人　鈴木　佐和
編集人　杉浦　瑛俊
八王子市東中野742－1
電話 042(674)2802

関東大会の悔しさ胸に

7季連続リーグ制覇 準硬

7年ぶり全日本優勝へ

◆東都大学準硬式野球連盟春季リーグ戦（3・29～5・26スリーボンドベースボールパーク上柚木他）

中大準硬式野球部が全勝で春季リーグ戦優勝を成し遂げ、7季連続優勝を飾った。好調の功刀、山口、5人の投手陣を初め、チーム一丸となって最後まで戦い抜き、関東大会3連覇を達成できなかった雪辱を果たした。【関連記事2面】

10戦全勝

田中駿佑（たなか しゅんすけ）　萬谷大輝（まんや だいき）　三浦凌輔（みうら りょうすけ）

石井竜弥（いしい たつや）　大山北斗（おおやま ほくと）

5人の投手陣

優勝の瞬間を喜ぶ選手たち〈カメラ・高橋若夏〉切り込み写真は優勝を喜ぶ大山

関東3連覇逃す　全日本大会予選会

関東大会三連覇を逃し、涙をのんだ準硬式野球部は今季リーグ戦で優勝をしないと全日本大会（予選）に行けないので「リーグ戦で一戦一戦頑張る」（山崎大翔主将・商4）、「（今季を通して）チームを勝たせるピッチャーになりたい」（石井竜弥・商4）などと熱い思いで挑み、全勝という好成績で7季連続優勝を成し遂げた。リーグ戦序盤は打撃に課題があり、エース石井や大山北斗（商2）ら投手陣が相手打者を抑え、守り勝つ場面が多かった。しかし、優勝を決めた一戦では小柳翼（商4）、功刀史也（文3）、山口剛大（文1）らの活躍により打線がつながり、得点の量産に成功。7回コールドで宿敵日大を下し、打撃陣の層の厚さを証明した。

全日本大会予選会　勝優勝し、波に乗る

春季リーグ全勝優勝し、波に乗る中大は全日本大会予選会への出場を果たした。この予選会に1勝すれば8月下旬に大阪で開催される全日本大会への切符を手にすることができる。そんな大切な試合で中大は初回から3点を取り、大きくリード。中盤は追加点を取れず、もどかしい状況になるも5回から再び試合が動く。中大打線が爆発し、7点追加に成功。10－0で相手を圧倒し、5回コールドで勝利。悲願の全日本大会出場を確定させた。この試合の裏には石井の投球スタイルの工夫が見られた。少ない投球で相手を抑えるため、普段の三振を取るスタイルから野手を信じ打たせてから取るというスタイルに挑戦していた。全日本大会に向け努力する姿が印象的であった。

全国制覇へ向けて

春季リーグでは石井や功刀をはじめ、上級生はもちろん、4番を任され結果を残している山口、1年次から活躍している大山、高い打率を誇る松浦祥真（経2）など下級生の活躍も多く見られ、全日本大会での活躍も期待できる。昨年の全日本大会では普段同じ東都1部リーグで戦っている宿敵日大相手に打線をつなぐことができず、完封負けを喫しベスト8止まりと悔しい思いをした準硬式野球部。「2年連続ベスト8で負けていて、今年こそ自分が頑張って投げてなんとか優勝してみんなにいい思いをさせたい」（石井）「いつも通りの中大の力を出せば日本一を取れると思うので精一杯頑張りたい」（岩井大和・経2）と、それぞれ強い覚悟を口にした。今年こそは絶対に全員で優勝を勝ち取り、去年のような悔しさを味わうことなく笑顔で秋を迎えたい。（丸尾彩華）

優勝の鍵投手陣

春季リーグ優勝に欠かせない存在だったのが投手陣だ。

エースの石井は５試合で先発を務め、２試合で完投。「チームを勝たせるピッチャーになるのが自分の目標」と開幕戦で語っていたことを実力で示した。エースに次ぐ大山は先発３試合に登板、抑えとして出る場面もあり、粘り強いピッチングを見せる。全７試合に出場し防御率0.59とチームトップを誇った。１年生も春季リーグから本格的に登板。中継ぎで起用された萬谷大輝（商１）は、初登板ながら相手打線を無失点で抑え、三浦凌輔（商１）は大事な試合での先発起用。両者堂々のピッチングを見せた。萬谷は「いろんな展開になると思うが、竜弥（＝石井）さんだけじゃなくて自分たち１年生が支えていきたい」と頼もしい新入生コンビが存在感を現した。そして、けが明けの田中駿佑（商３）は中継ぎでの登板で、厳しい場面での失点が見られた。「若い１・２年生が投げていることで、負けられないところがある」（小泉コーチ）と春季リーグから修正し、上級生としての田中の完全復活に期待がかかる。

５人の投手で戦った春季リーグ。全員の力で勝ち取った全勝でのリーグ優勝。投手陣にも層の厚さが出てきた。次の大会は連戦が続く全日本大会、エースを筆頭に総力戦で優勝を目指す。

Center Position

人はよく「忙しい」という言葉を使う。多くの人が日々忙しい生活を送っているだろう。私もその１人だ。決して楽しいことばかりだけではないが、めくるめく過ぎ去っていく日々。私はそんな忙しい日々だからこそ充実していると感じる。▼今まで１番充実していたと思うのは中学の頃。私はバドミントン部に所属しながら生徒会長を務め部活と生徒会に熱中する日々を送っていた。楽しいことだけではなかったが、周りの仲間に恵まれてなんとか両立しやりきることが出来た。卒業式で答辞を務めた時は心の底からやってよかったと思えた、人生で１番濃い３年間だった。▼私はその時からずっと続けていることがある。手帳を書くということだ。デジタル化が進む便利な現代だがあえて私は紙の手帳を使い続ける。デジタルの便利さももちろんあるが、紙にはその場その時でしか出せない〝味〟がある。感情や疲労などその様子から伝わってくる文字、時間が経って色褪せていくのもまた紙の良さだと思う。そして忙しい時こそ手帳を書くというのが私の中のルーティーンだ。あえて手帳に書くことは決めず、その日思ったことを思いのままに綴る。部活との両立、受験期など大変だった時のページを見返すと頑張ろうと思える。私は手帳を書き忙しい日々を乗り切る。▼紙ならではの良さは新聞にも同じことがいえる。最近は新聞をとる家庭も減り、電子版でも読めるが、あのサイズ感、迫力は紙ならではだ。私は新聞部に入って記事を書きレイアウトしてみて改めて新聞の良さを感じている。▼現在私は中スポで中学以来に部活に熱中している。実際取材に足を運び、選手の活躍を自分の目で見てその感動を伝える、とてもやりがいのある部活だ。そして今回初めて１面を組んだ。自分の担当である準硬式野球部の活躍を取材からレイアウトまで携われることを光栄に思う。中スポは部員一人一人の熱い想いと日々の努力が１つの形となり、新聞となっている。そんな中スポが１人でも多くの人に届くよう願いを込めて…。（高橋）

レイアウト　高橋若夏

◆選手の趣味◆　優勝確定した試合で相手を無失点で抑えた大山の趣味は釣りとゲーム。チームを引っ張り小泉コーチからも定評のある功刀は映画鑑賞だそう

らーめん
にんにくや
Instagram: ninnikuyaseki
twitter: ninnikuya_h
応援してるぞ～!!

広告主募集

見積もり、ご相談承ります!
お問い合わせは下記連絡先まで
☎ 042-674-2802
✉ chu-spo@hotmail.co.jp
電話受付時間▷11:00～18:00
※ 土、日、祝日および大学休業期間は電話がつながらない場合がございます。電子メールも併せてご利用ください。
年間6回　最大2万6000部発行
中大生必読のスポーツ情報紙
CHUSPO HP
中大スポーツ
CHŪDAI SPORTS
中央大学体育連盟所属「中大スポーツ」新聞部